

条例制定
賛成多数で可決

4月から実施
こども誰でも通園制度

乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例

令和8年4月から、0歳6カ月から満3歳未満で保育所等に通っていない子どもを対象に、就労要件を問わず、月10時間まで保育所等を利用できることも誰でも通園制度が始まるための条例が提案されました。

問 実施施設の予定は。
答 上野台保育所、霞ヶ丘保育所の公立保育所2施設での実施を予定している。また、市内の認可保育所、認定こども園及び幼稚園に対して実施した実態意向調査によると、現時点では4施設が事業実施に向けた検討をしている状況である。

問 各施設の定員は。
答 保育室の面積や設備、配置できる保育士の人数等を鑑みて設定することになっている。一般型乳児等通園事業所では、乳児おおむね3人につき1人以上、満1歳以上3歳未満の幼児おおむね6人につき1人以上の従事者が必要で、半数以上を保育士とすることとしている。

問 実施スケジュールは。



契約の締結
全員賛成で可決

更に安全で
快適な学校へ

市立大井東中学校校舎大規模改造工事請負変更契約

大井東中学校の大規模改造工事において、生徒の安全で快適な学校生活を送るための工事内容の追加及び変更が必要となり、契約金額が増額となりました。

問 変更内容の概要は。
答 既存で空調設備が設置されていないが、利用頻度の高い教室に追加設置すること、及び既存空調設備を含めたものを職員室で集中管理ができるように集中管理システムの設定を行う。

また、工事中の定期点検により、給食用の小荷物昇降機において制御盤や巻上機、着床装置などの部品について修理交換の推奨があり交換する。

問 空調設備の集中管理システムの見直しについての詳細は。

答 設置時期によりメーカーが異なる3種のメーカーとなっている。集中管理システムの信号エラーにより動作しなくなったこともあったため、各メーカーによる調整を再度行うとともに、切り忘れの防止が職員室で全て把握でき、ついているものを消せる仕様となる。



安全第一で改修工事

道路線の認定
全員賛成で可決

新設道路の認定と
安全対策

道路線の認定

新たに認定される市民憩の森付近の市道E-266号線について、交差点の安全対策や博物館開館後の交通への影響等が質疑されました。

問 認定される市道E-266号線の安全対策は。

答 開発事業者と市の交通担当で協議を行い、カーブミラー等は既に設置されている。今後は、市民から要望等が出た場合、必要な安全対策を実施していきたいと考えている。

問 バス通りと接続する交差点や通り抜けへの対応は。

答 南側には既にカーブミラーが設置されており、北側についても道路を挟んだ向かい側にカーブミラーを設置する予定である。

道路が使われ始めた後に危険な状況が見られた場合は、警察など関係機関と相談しながら必要な対応を行う。通り抜けについても、実情を踏まえて対応する。

問 北側の交差点の見通しや博物館開館後の交通対策は。

答 交差点は道路幅員に応じた基準に基づき隅切りを確保しており、場



委員会で現地確認

所によっては基準以上としている。博物館開館による人の流れの増加も認識しており、今後の利用状況を見ながら横断歩道の設置等を関係機関と協議を重ねたいと考えている。

指定管理者の指定
全員賛成で可決

中高生の利用者が
過去最高

市立児童センターの指定管理者の指定

市立児童センターの指定管理者の指定に当たり、現事業者からの新規の事業提案などについて、どのように評価されているか質疑が行われました。

問 子育て支援拠点事業とは。

答 乳幼児、0歳から2歳の保護者を対象にした情報交換、交流、相談の場となるような事業を実施している。

問 小学生から中高校生の居場所づくり事業で地域連携を高く評価をされていたが、どのような事業であるのか。

答 小学生が提案し、季節ごとの工作や子どもオリンピック等を行っている。

中学生には、夕方の時間を確保してスポーツタイムという事業が実施されてきた。また、地域連携として、更生保護女性会の人々により、伝承遊びも取り入れている。

問 子どもの意見を反映することも運営委員会や中高生ボランティアの活動内容は。

答 こども運営委員会では10名程度の小学生が参加し、児童センターの

使用ルールについて、子どもたちに考えてもらい、解決していく場の提案がされている。

また、中高生のボランティアで貸し出し用エプロンを着けて、運営側に回って自己肯定感と自信をつけていく場の提案がされている。



子どもの居場所